

最終報告（案）の構成

- 会議の議論を集約し、論点別の現状と課題、今後の施策の方向性、東京の地域包括ケアシステムの実現に向けた取組の進め方について取りまとめる。

【「中間のまとめ」からの主な構成上の変更点】

- ① 議論を8つの論点に再構成(第2部第2章)
- ② 各論点を結び付ける「横軸」として、「東京の地域包括ケアシステムの実現に向けて」を新設(第2部第3章)
- ③ 文章と関連図表を見開きで配置(第1部、第2部第1章・第2章)

はじめに

- 検討会議の概要と最終報告のねらい

第1部 検討の背景

(1) 東京を取り巻く状況

- 2025年問題、東京圏高齢化危機回避戦略、「介護離職ゼロ」 など

(2) 「東京都長期ビジョン」と「第6期東京都高齢者保健福祉計画」

- 地域包括ケアシステムの構築、施設と在宅サービスの整備、一都三県の連携 など

(3) 本検討会議の趣旨・目的

- 課題の複雑化、従来型の対応の限界、政策の連携の必要性、東京の地域特性 など

第2部 検討会議の議論の展開

第1章 検討に当たって

総論

(1) 地域包括ケアシステムとは

- 5つの構成要素、都民の選択と自己決定、自助・互助・共助・公助 など

(2) 人口構造の歴史的転換期において採るべき視点

- 21世紀型の新たな課題、地域ごと分析と対応、高齢化の最先端を走る東京 など

第2章 論点別の現状・課題と対応策

縦軸

- 検討会議の各論の議論を8つの論点に整理

- 「現状と議論のポイント」、「議論から見えてきた課題」「課題解決のための施策の方向性」をまとめる。

1 高齢期の住まいの確保と住まい方の支援

5 地域に密着した介護サービス基盤の整備

2 介護予防と支え合う地域づくり

6 時代のニーズに応じた規制の見直し

3 地域での認知症対応力の向上

7 介護人材の確保・育成・定着

4 在宅療養環境の整備

8 仕事と介護の両立支援

第3章 東京の地域包括ケアシステムの実現に向けて

横軸

- 第2章で示した方向性に基づき、施策を地域で統合的・戦略的に機能させるための取組の進め方を提示

1 地域の実情に即した展開

2 分野横断的な施策と取組

3 多様な主体の参加と協働

おわりに

- 東京が目指すべき地域包括ケアシステムの姿